

性暴力等を根絶するための「対策パッケージ」

個人の取組

キーワード
『未来の自分が見ている』

1. 評価

- ①セルフチェック（自身の目）
- ②ストレスチェック（福利厚生課実施）

2. 相談

- ①身体面の相談
- ②心理面の相談
- ③社会生活面の相談

3. 研修

eラーニング研修

組織の取組

キーワード
『お互いが見ている』

1. 評価

- ①組織に対するチェック（組織の目：ピアレビュー）
- ②ストレスチェック（産業医等）

2. 相談

- 3段階の相談体制を整える
- ①セルフケア（自己管理する）
個人が健康維持できる態勢
 - ②メンタリング（他者を頼る）
同僚・上司などに相談できる態勢
 - ③カウンセリング（専門家に委ねる）
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、産業医、スクールロイヤーなどに相談できる態勢

3. 研修

- ①ミニ研修（15分程度の研修）
- ②コア研修（60分程度の研修）

社会の取組

キーワード
『地域が見ている』

1. 評価

学校評価
学校評価項目へ組み込み、児童生徒・保護者・教職員がチェックできる態勢を整える

2. 相談

- ①学校運営協議会の議題として取り上げる
- ②学外相談機関の一覧を整え周知する

3. 研修

「生命(いのち)の安全教育」の実施

- ・児童生徒に対して正しい知識や行動を伝える
- ・保護者・地域住民にも啓発する

『誰かが見ている・見守られている』

<期待される効果>

- 1. 個人・学校・地域の3次元型セーフティネットの形成による抑止効果（誰かが見ている）と心理的安全効果（誰かが助けてくれる）
- 2. リソースの活用によるコストパフォーマンスと持続可能な対策